

安全データシート

ジベレリン明治液剤

作成日: 2014 年 4 月 10 日

改訂日: 年 月 日

1. 化学物質等及び会社情報

<p>製品名:</p> <p>会社名:</p> <p>住所:</p> <p>電話番号:</p> <p>FAX 番号:</p> <p>緊急時の電話番号:</p>	<p>ジベレリン明治液剤</p> <p>Meiji Seika ファルマ株式会社</p> <p>〒104-8002 東京都中央区京橋二丁目 4 番 16 号</p> <p>03-3273-0177</p> <p>03-3271-1460</p> <p>公益財団法人 日本中毒情報センター 中毒 110 番(事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る) <一般市民専用無料電話> 大阪中毒 110 番(365 日 24 時間対応) 072-727-2499(情報提供料:無料) つくば中毒 110 番(365 日 9 時~21 時対応) 029-852-9999(情報提供料:無料) <医療機関専用有料電話> 大阪中毒 110 番(365 日 24 時間対応) 072-726-9923(1 件につき 2,000 円) つくば中毒 110 番(365 日 9 時~21 時対応) 029-851-9999(1 件につき 2,000 円) 医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、情報料 1 件につき 2,000 円を徴収します。</p> <p>推奨用途及び使用上の制限: 農薬(植物成長調整剤) 農薬登録範囲外の使用は不可。</p>
---	---

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

<p>引火性液体:</p> <p>眼刺激性:</p>	<p>区分2</p> <p>区分2B</p>
--	------------------------

上記で記載がない危険有害性は、区分外か分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



<p>注意喚起語:</p> <p>危険有害性情報:</p>	<p>危険</p> <p>引火性の高い液体及び蒸気。</p> <p>眼刺激。</p>
---	--

注意書き:

【安全対策】
熱/火花/裸火/高温のものから遠ざけること。
禁煙。
容器を密閉しておくこと。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。

保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急処置】

皮膚にかかった場合、引火をさけるため、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

火災の場合、消火に粉末、炭酸ガス、水を用いる。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当を受けること。

【保管】

換気の良いところで保管すること。火気のない涼しいところに置くこと。

【廃棄】

内容物や容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産廃棄物処理業者に委託すること。

GHSに分類しないほかの危険有害性：第4類引火性液体、アルコール類
 危険等級Ⅱ

3. 組成、成分情報

単一性品・混合物の区別： 混合物
 一般名： ジベレリン

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法	安衛法	
ジベレリンA3; 2,4a,7-トリヒドロキシ-1-メチル-8-メチレンジペ-3-エン-1,10-ジカルボン酸 1,4-a→ラクトン	0.50%	4-785 9-2556	—	77-06-5
湿展剤(界面活性剤)	0.45%	—	—	—
着色剤	極微量	—	—	—
有機溶剤(変性アルコール)	99%	2-202	—	64-17-5

*: 変性アルコールの番号はエタノールの番号を記載した

4. 応急措置

吸入した場合： 有効成分による影響はないが、溶媒がエタノールであるため、多量に吸入すると急性アルコール中毒の症状を呈するおそれがあるので、意識混濁や昏睡、呼吸・脈の異常がみられるときは直ちに救急車を呼び、医師の手当を受けること。

皮膚に付着した場合： 刺激性・感作性はいずれも陰性であるが、付着部を多量の水でよく洗浄する。

目に入った場合： 水で眼を数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合： 速やかに口をすすぎ、異常があれば医師の診断を受けること。
 有効成分による影響はないが、溶媒がエタノールであるため、多量に摂取すると急性アルコール中毒の症状を呈するおそれがあるので、意識混濁や昏睡、呼吸・脈の異常が見られるときは直ちに救急車を呼び、医師の手当をうけること。

5. 火災時の措置

消火剤： 火元への燃焼源を断ち、風上より粉末、二酸化炭素、等の消化器もしくは多量の水で消火する。

使ってはならない消火剤: 消火を行う者の保護:	情報なし。 適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
6. 漏出時の措置	
火気厳禁:	付近に火気がないことを確認するとともに、火気の使用を止めるよう要請する。
人体に対する注意事項: 保護具及び緊急時措置:	呼吸用保護具及び通常の保護具を着用して作業を行う。 作業者は適切な保護具(「8. 暴露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、飛沫、粉じん、ミスト、ガスなどによる眼、皮膚への接触や吸入をさける。
環境に対する注意事項: 回収・中和並びに封じ込め及び浄化方法・機材	特に留意する必要はない。 多量に漏出させた場合は、容器に回収するか土砂等に吸着させ容器に回収して適切に処理する。漏出したあとは多量の水で洗い流す。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策:	裸火・火花禁止。着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らないよう適切な保護具を着用する。
局所排気・全体換気:	取扱いは換気の良い場所で行う。
注意事項	可燃性、還元性、強酸化剤から遠ざける。
安全取扱い注意事項:	機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
保管	
保管条件:	直射日光を避け、食品と区別し、小児の手の届かないなるべく低温で乾燥した場所に密閉して保管。
安全な容器包装材料:	ガラスやポリエチレン等を用いた密閉のできる容器。
8. ばく露防止及び保護措置	
設備対策:	取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具:	防じんマスク。
手の保護具:	不浸透性手袋。
眼の保護具:	側板付き眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡。
皮膚及び身体の保護具:	長袖の作業衣・長靴。
9. 物理的及び化学的性質	
物理的状態、形状、色など:	淡黄色～淡褐色液体
pH:	知見なし
比重(見かけ):	0.789g/cm ³
10. 安定性及び反応性	
安定性:	通常の貯蔵・取扱い条件(常温)では安定。
危険有害反応可能性:	空気中で爆発性過酸化物を生成することがある。次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニアと徐々に反応し、火災や爆発の危険をもたらす。ある種のプラスチック、ゴム、被膜剤を侵す。
避けるべき条件:	高温への暴露。
混触危険物質:	強酸化剤、次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニア。
危険有害な分解生成物:	一酸化炭素。
11. 有害性情報	
急性毒性:	経口 ラット ♂♀ > 5000 mg/kg マウス ♂♀ > 5000 mg/kg 経皮 ラット ♂♀ > 2000 mg/kg [区分外]
皮膚刺激性	ウサギ 陰性
眼に対する重篤な損傷/刺激性	ウサギ 強度の刺激性、洗眼により軽減

皮膚感作性:	モルモット 陰性
12. 環境影響情報	本化合物は植物に内生する化合物で環境に与える影響は少ない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物:	法、条例に従って安全に処理する。または廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。
汚染容器及び包装:	空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理する。洗浄水は圃場等で使用する。
14. 輸送上の注意	火気厳禁 その他危険物運搬上の一般的取扱いに準じる。容器に異常のないことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。
【国際規制】	
海上規制	
国連分類	3
国連番号	1170
品名(国際輸送品名)	エタノール溶液
容器等級	II
海洋汚染物質	該当しない
航空規制	
国連分類	3
国連番号	1170
品名(国際輸送品名)	エタノール溶液
容器等級	II
緊急時応急措置指針番号	127
【国内規制】	
陸上規制情報	消防法に従う
海上規制情報	船舶安全法に従う
国連分類	3
国連番号	1170
品名(国際輸送品名)	エタノール溶液
容器等級	II
海洋汚染物質	該当しない
航空規制	
国連分類	3
国連番号	1170
品名(国際輸送品名)	エタノール溶液
容器等級	II
15. 適用法令	
労働安全衛生法:	危険物・引火物のもの(施行令 別表第1第4号) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条2の別表第9)(政令番号634号)
消防法:	危険物第4類アルコール類(登録番号4030-085572)
船舶安全法:	引火性液体類(危惧則第2.3条危険物告示別表第1)
航空法:	引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)
農薬取締法:	登録番号第6005号

16. その他情報

引用文献:

自社データ

記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しております。記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。なお、注意事項等については通常の手続きを対象にしたものですので、特別な取り扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。